

令和4年度みやぎ21健康プラン協議会
会議録

日時：令和5年3月27日（月）

午後2時から午後3時30分まで

場所：WEB会議（事務局：保健福祉部会議室）

○出席委員

泉谷委員、及川委員、奥村委員、小坂委員、片倉委員、金田委員、熊谷委員、菅原委員、中鉢委員、樋口委員、竇沢委員

（司会）

それでは議事に入らせていただきます。ここからの進行につきましては、条例の規定によりまして、小坂会長にお願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

（小坂委員）

皆さんどうぞよろしくお願ひします。やっぱり私もコロナ禍で大変太りましたので、みんなでもうやったら対応できるか忌憚のない御意見を願ひいたします。それでは、まず初めに本日初めて出席される委員がいらっしゃいますので、簡単に自己紹介をいただきます。最初に、宮城県医師会副会長の奥村委員、御挨拶を願ひします。

（奥村委員）

今度新しく協議会の委員に就任いたしました宮城県医師会副会長の奥村でございます。どうぞよろしく願ひいたします。特にフレイル予防ということで非常に問題になっておりまして、これからは健康寿命を長く保つためにはやはり寝たきを防いでいかなければならないということで、運動等々、色々な試みが必要となってくるのではないかと願ひしております。どうぞよろしく願ひいたします。

（小坂委員）

奥村先生どうもありがとうございます。どうぞよろしく願ひいたします。続きまして、宮城県栄養士設置市町村連絡協議会の会長でいらっしゃいます、熊谷委員願ひいたします。

(熊谷委員)

宮城県栄養士設置市町村連絡協議会会長の熊谷知恵美と言います。私は大河原町健康推進課に所属しております。宮栄連として、適塩と子供の肥満を課題にしておりまして、これらの取り組みをしていきたいと今話し合っているところであります。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(小坂委員)

どうもありがとうございました。それでは3番目に、宮城県学校保健会理事の樋口委員お願いいたします。

(樋口委員)

みなさんこんにちは。宮城県学校保健会の理事として参加しております白石市立白石中学校の校長の樋口英明と申します。私は県の中学校長会の副会長として学校保健会の中に入って、この協議会に参加しておりますのでよろしくお願いいたします。

(小坂委員)

どうもありがとうございました。それでは、議事の報告①第二次みやぎ21健康プランの概要と関連事業の取組状況について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料1により説明

(小坂委員)

ありがとうございました。宮城県庁の中ではかなりがんばって色々やってくれたのかなと思いますが。初めて見たという人も結構多いと思うのですが、見たことがある方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。あまり届いていないですね。今日の出席者には残念ながら届いていないようなのですが、街中では見られるかもしれません。ただこの動画が3月31日で終わるということですね。また4月から次のバージョンが始まるということなので、再生回数をみんなで見て増やしていただきたいと思っております。それでは、今の御説明につきまして、何か御意見とか御質問とかありますか。

オンラインの先生方も挙手があればマイクミュート外してもらって、発言をお願いいたします。寶澤先生お願いいたします。

(寶澤委員)

小坂先生ありがとうございます。この動画、私も会議の時に御紹介いただいて、すごくいい出来だと思いました。インパクトもあるのですが、小坂先生がおっしゃられたとおりで、

どこに行くと見られるのだろうか。例えば若い人とか中年くらいの世代の人には見てもらいたいのですが、どのくらい見てもらったかみたいな、市場調査的なものは県庁でされているか、もし分かれば教えてください。いい動画だったと思うのでどのくらい普及したのかということが気になったところです。

(小坂委員)

はいありがとうございます。Y o u T u b e にあがっているよね。

(事務局)

そうです。

(小坂委員)

再生数どのくらいまでいきましたか。

(事務局)

再生回数は26万回を超えておりまして、Y o u T u b e をご覧いただいているときに入ってくる広告にこのダンスサイズ動画の広告を発信しまして、クリックでこの動画に繋げるという手法で見ていただいたところです。あとはポスターを作成しまして、各市町村さんであるとか、関係団体様にお配りをして、そこから動画に入っていただくQRコードを張り付けたところでした。

(小坂委員)

26万人くらい見たということ？

(事務局)

はい。その程度の数字でございます。

(小坂先生)

はいありがとうございます。ほかに御意見、御質問等ございますか。何かいろんなことをやっていたようですが、県庁だけではなくて、先ほどいろんな団体と協力をいただいてやったというところだったのですが、今回参加しているところで一緒にやったところってどこでしたっけ。

(事務局)

宮城労働局様と一緒に歩数アップチャレンジに取り組みました。

(小坂委員)

その辺コメントあればいただきたいと思います。菅原委員お願いします。

(菅原委員)

宮城労働局の菅原でございます。歩数アップチャレンジにお声がけをいただきまして、当局としましても、健康を推進していくことに取組んでおりまして、各労働基準監督署の窓口などにリーフレットを置くような形をとりながら、参加者募集と一緒に取り組みましたけれども、その結果としてどれだけお役に立てたかというところは疑問があるところでございます。やはり我々、安全衛生ということを課題にしていますが、健康の部分というのは昔から取組はしているのですけれども、なかなか具体的に安全と違ってどうするかというところで今一つ取組が十分にできていないというところもございまして、こういうような形で宮城県あるいは自治体のみなさま方と協力することができれば、我々の方としてもぜひ一緒をお願いしたと思ってございますので、また一緒に取組んでいければと思っております。以上でございます。

(小坂委員)

ありがとうございます。先ほど寶澤委員がおっしゃったとおり、行政が作ったものを流行らせるというのは非常に難しいことがあって、私も某大きな自治体とコロナ対策で色々やっていますが、副知事がかなりアクセス数を増やすために努力とかをしているのですが、それでもなかなかうまくいかない。国の方も、いろんなSNSをやっているのですが、基本バズらないっていうのが基本だと思います。その中で、やっぱりアメリカのCDCなどがリスクコミュニケーションのやり方の中で必ず言っているのが、当事者住人を巻き込んでやりなさいというのが必ず徹底されているんですね。日本の行政の発信っていうのはそういうのが比較的まだちょっと足りない部分があると思っておりますので、そういったことも今後検討いただければいいかなと思って聞いておりました。他の委員よろしいでしょうか。

(片倉委員)

栄養士会の片倉です。今健康3.15.0(サイコー)ダンササイズを見させていただいてですね、6月から35市町村健診が始まる、その健診会場で流せないのかなと、登米市だったらやれるよなと思いましたが、ずっと回っている間に、今日寶澤先生いらっしゃいますけども、ナトカリ測定の栄養相談のコーナーもあるので、そのような所にテレビも置いて眺めることができれば少しでも多くの県民の方に周知できるのかなと考えたのですけれども、可能でしょうか。大丈夫ならば健診が6月から始まりますので、とてもいいと思います。以上です。

(事務局)

大変示唆に富むお話いただきましてありがとうございます。この動画については、どんどん活用いただければと思いますので、現在のバージョンを作りました時にも各市町村さんですとかスマートみやぎ県民会議の企業さんのほうにはどうぞお使いいただければということで、実際ご利用いただいたところもあるのですが、4月からの新バージョン提供の際にまた改めて各市町村さんそのほかの自治体の方にも今のような具体的な活用方法の例も含めて御紹介させていただきたいと思っております。コロナのワクチン摂取大規模会場でも流させていただいて、多くの方が待っている時間帯に見ていただけたのではないかなと思っております。今のような活用もご提案いただいたような活用も含めて進めてまいりたいと思います。

(小坂委員)

さらにどんどん攻めていただいてY o u T u b eの銀の楯が県庁の健康推進課の方にもらえるといいなと思って期待しているところです。寶澤先生お願いします。

(寶澤委員)

今の片倉先生の発言に、健診会場で血压測っている脇であんまりテンションを上げすぎないようにという気持ちもあるのですが、採血待ちの所で5分待たないといけない、ワクチン接種の時もそうだと思うのですが、そのような時間をうまく活用できるのかなと思うのですが、すでに県の方から、例えば健診会場で流してくださいというような要請を既に各市町村に流れているのでしょうか。

(事務局)

健診会場という特定はしておりませんが、市町村の方には動画を提供済でございます。そして、動画の活用例としましては、市町村の庁舎内のデジタルサイネージあるいはホームページ内へリンクを貼ってくださいという例を挙げておりましたので、今の季節としては健診が始まろうとしているところなので、年度開けましたら新しいバージョン周知しつつ御依頼したいと思います。

(寶澤委員)

年度開けたらってすぐってことですよ？やっぱり一般のターゲットポピュレーションにどれだけこの動画を見ていただけるかだと思うので、ぜひ、せっかくのアイデアなので活用いただけるといいのかなと思いました。

(小坂委員)

ちなみに新しいバージョンはどんな感じなのですか。

(事務局)

新しいバージョンは、パパイヤさんから伊達武将隊さんになります。政宗公が踊っております。

(小坂委員)

ありがとうございます。非常に楽しみにしたいと。4月1日にもう見られるのですか。

(事務局)

そうですね。準備を進めたいと思います。

(小坂委員)

準備ができたら各委員にもぜひ御紹介いただければと思います。ありがとうございます。他になければ、報告②の方にまいります。令和2年宮城県県民健康栄養調査の実施状況について、事務局から御説明をお願いします。

(事務局)

資料②により説明。

(小坂委員)

説明ありがとうございました。ただいまの説明について何か御意見・ご質問等御座いますでしょうか。私から、あのコロナ禍の中で、しかもBDHQって非常に面倒くさい調査なのですよね。だから非常に回収率下がるかなと思ったのですが、70%以上というところで、大変すばらしいなと思っています。国のいろんな調査だと3割4割というのが多いのですが、この調査に関しては、宮城県のこれまでも結構高い協力率だったかなと思っています。私食品安全委員会のほうのやつやっていますけど、どういうものを食べたか、どのくらい食べたかも含めて、そのシミュレーションなどをする時に非常に参考になるデータになります。そういった使われ方もされますので、非常に大事な基礎資料だと、そういうふうに思っております。皆さん何か御意見・ご質問御座いますか。あともう一つ、今回色々WEBによる調査ということも並行して行ったところなのですが、やっぱり若い人はWEBでの回答っていうのもある程度あるのかなと思ったのですが、その辺の状況はいかがですかね。

(事務局)

WEBでの回収は、協力者のうち10%程度がWEBでの回答ということでした。ほとんどが郵送での回収ということで集まっております。WEBで回答いただいた方はほとんど

スマートフォンを利用されているように感じております。

(小坂委員)

ありがとうございます。今後こういった形での調査も増えてくるのかなと思っています。一方、歩行数調査ってちゃんと歩数計つけるやつですよ？

(事務局)

そうです。国の調査と同じ万歩計をつけるということで、国民健康栄養調査と同じ精度でということで進めてきました。

(小坂委員)

ありがとうございます。まあこの辺もスマートフォンとかスマートウォッチとかで精度よく測れるようになってきたというところで、色々な方法が、国際的なジャーナル的には認められてきているということもあります。国の方が変わらないと変えられないところはあると思いますが、今後そういったことが変わっていく可能性あるかなと思って聞いておりました。オンラインの委員の方特にいかがですか。御質問、御意見ありますか。菅原委員お願いします。

(菅原委員)

厚生労働省では5年毎に労働災害の防止計画といったようなものを作っております。厚生労働大臣が作成するという事になっているのですが、その労働災害の防止計画の第13次の計画が、今年度で終了して、次年度につなげるという年にあたっております。13次計画の中で、職場の事業所以外の支援を含めた相談先がある労働者の割合を9割以上にするというのが目標として一つあります。いろんな国の目標と併せてこういうものが作られているとは思いますが、全国の数値、現状というものは公表されるのですが、都道府県毎の公表はされないということで、ぜひ県の方の調査で、今回の調査でもずばりではないのですけれども、「相談先がある」「勤労者」ということで、クロスさせると何かしらの傾向が見えてくるのではないかと思いますので、参考値として御提供いただけないかというお願いです。

(小坂委員)

事務局いかがでしょうか。

(事務局)

「悩みなどを気軽に相談できる相手がありますか」という問いを、昨年度この調査票を作る時に菅原委員の御提案で入れさせていただいております。かつこ書きで「職場内の相談窓

口も含まます」とありましたので、こちらとの必要な項目のクロス集計等はこちらでできればなと思いますし、データを有効に活用いただければなと思います。

(小坂委員)

やはり今のこととかですね、非常に大事かなと思っていて、コロナ禍で日本だけが自殺者が増えていて、大きな問題になっているわけですね。特に女性は各年代が本当に増えてきてしまっている。今回もソーシャルキャピタルの醸成ということになっておりますが、一応日本は孤独担当大臣というのを作ってはいるのですが、本当に機能しているかっていうとなかなか難しいところですね。だから大学等も孤独担当の理事をつくるかみたいな話も提案させてもらったこともあるのですが、やっぱりそういった各職場、各事業所などもそうなのでしょうけれど、支援の取組場所が非常に大事になってくると思っておりますので、その辺の検討も含めて、広い部分の健康についても非常に重要な部分であるとも思うのでよろしくお願いします。他いかがでしょうか。では報告事項はここまでにして、これから二つ協議事項があります。協議事項の1つ目が、第二次みやぎ21健康プランの最終評価の方法についてということでございます。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料3により説明

(小坂委員)

ありがとうございます。有識者ワーキングの方からもし補足があればいただきたいと思うのですが、まず寶澤委員お願いできますか。

(寶澤委員)

こちら有識者ワーキングの方で議論させていただいて、県庁の方でまず評価シートを取りまとめてですね、各担当を決めてやる形でスムーズに進むのではないかと考えました。このやり方そのものについては今日先生方に御審議いただいて、もしよろしければ5月、6月で我々のほうで評価を進めて、また改めて先生方に見ていただく形をとればと思っております。

(小坂委員)

ありがとうございます。他は金田委員もでしたっけ、有識者。

(金田委員)

はい、金田です。私も委員です。まだ実際に私もやったことがないのではっきりわかりませんが、事務局がまとめてくれたのに対して私たちが意見を言うという方向でやれるとい

う風に考えております。

(小坂委員)

はいありがとうございます。他の委員の方、コメントあればお願いいたします。ここにいらっしゃる皆さんいかがでしょうか。私から、特に評価区分というところでABCDEっていう自体はいいと思うのですが、中身の細かいところも大事なところで、変わらないといっても実は地域年代対象とかによる違いがあるのか、少し見ていただいで、SS含めて見ていただいで実態を把握してもらおうと思います。平均値だけだとなかなか分かりにくいところも出てくるのではないかと心配しております。あと、厚労省との取組の中で、企業の中の健診とか、けんぼのデータを数千万かけて解析する業者さんもあり、そういうのに頼る関心の高い企業が増えているようには思っています。そういった中で、都道府県あるいは県の中での役割をもう一回位置づけ直すということもあると聞いておりました。そのようなこともご検討いただければと思っております。この評価プランがどうこうという話ではなくコメントだけさせていただきます。ほか委員の方よろしいでしょうかね。では、評価方法はここまでということで、次に移らせていただきます。それでは協議②みやぎ21健康プラン評価と時期プラン策定スケジュールについて、事務局からお願いいたします。

(事務局)

資料4により説明。

(小坂委員)

はい、ありがとうございます。来年度は色々大変な時期、最終評価とプラン策定という形になるのですけれども。今日欠席ですが、辻教授が次期プランの国の方のまとめ役をされていますし、寶澤先生もいらっしゃいますし。そういった国の動向も踏まえながら県の方で次期プラン策定などをやっていただければいいかなと思っております。コロナ禍にもかかわらず、非常に積極的な取り組みをしていただいたと感謝しておりますし、これもまた時期プランについても攻めのプランを作っていただきたいと要望しているところです。それでは各委員からコメントあるいはご質問等ありますか。

(寶澤委員)

協議会ワーキングサイドの人間として、やはり委員改選もございますので、今先生方からいただけるコメント、協議会直後にでも、ぜひ先生方からこんなことはというのは早めに事務局にいただけると、ワーキングサイドとしてもそれに沿って作業ができますので、ぜひよろしくお願いいたします。

(小坂委員)

ありがとうございます。今日本当に御参加の委員の方は日々色々な課題に対応していただいていると思うのですが、そういったものをうまく県のプランの中にも入れていただくというところで、積極的に御提案いただければいいかなと思って聞いておりました。何か委員はここで言うておいたほうがいいようなものがあれば教えていただきたいのですが。菅原委員お願いします。

(菅原委員)

宮城労働局の菅原でございます。先ほど労働災害防止計画の第13次計画が今年度で終了するという事を申し上げましたけれども、それに引き続きまして次年度から第14次計画が策定されておりまして、現在国の14次防次計画を、宮城県内でどういう風に具体的に推進していくかを検討しています。策定している段階ではあるのですが、健康の問題につきましても目標値として企業としての取組の内容でありますとか企業が取り組んだ結果の労働者としての目標を数値として掲げて取り組んでいく形になっております。先ほど13次計画の参考数値をお願いしたことになるのですが、ぜひ計画を策定する段階から同じ方向を向いて、できれば一緒にこの取組を進めていくという形で連携していければと思っておりますので、また引き続き14次計画の策定に併せてよろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。こちらも県庁内、国のプランや、お話しいただいた計画等ですね、参考にさせていただいて、同じ方向を向いて策定作業を進めてまいりたいと思います。

(小坂委員)

私の方から。先ほど奥村委員からフレイルというお話がありましたが、高齢者の保健事業の一体化という中で、どの程度このプランの中に入れていくのでしょうか。決まっているのですか。まだこれからでしょうか。

(事務局)

県の計画については今からというところでして、関係課とも連携しながら策定はすすめていきたいと思っております。

(小坂委員)

ぜひどんな方面の方々から、関係部局の方々からですね、デベロッパーが、健康な街づくりをする取組に、東北大も関わっていますが、そのようなことが進んでいますので、健康福祉とまちづくりというのが以前国土交通省から出ましたけれど、そういった街づくり基本

計画の中に、健康とか福祉とかあるいはインクルージョンが入ってくると思います。宮城県も色々そういった子供たち大人たちみんな対象としたサービスがでてきていますし、そういった先進的な取り組みが増えてき始めていますので、ぜひそう言ったところも参考にしながら、垣根を取っ払ってですね、ちょっとまた違う意味での攻めたプランを作っていたけるのじゃないかなと思っております。

奥村委員をお願いします。

(奥村委員)

健康寿命っていうのはだいたい男性が71歳、女性が74歳で、これは介護認定を受けていない状態をいうわけですね。寝たきり率というのは65歳だと約6%ちょっとなのですけども、80歳以上になりますと約3割、90歳以上では6割近い方が介護の認定を受けて介護を必要とする。そうするとですね、塩分7グラム、これ年齢によっては6グラムとかいろいろな指標がありますけれども、そういう指標も大事なのですけれども、本態性高血圧、二次性高血圧など、色々な病気と結びつかない、塩分と結びつかないものもございませぬ。指標として、健康寿命を評価する指標としては大事だと思うのですね、要するに、要介護率が、要支援率が全国に比べてどうかとかある程度の目標をたててそして健康寿命を延ばしていくということが非常にこれからの高齢化社会で大事なことじゃないかなと感じております。以上です。

(小坂委員)

はい。奥村委員ありがとうございました。本当に、宮城県の長寿社会のほうで講演がありましたけれども、生駒市の取組、いろんな自治体の取り組みみたいなものも発表されています。病気も持っていて、これまでの病気も防ぐのとは違う保健事業の在り方っていうのが、この中にどの程度書き込めるのかっていう部分はあるかもしれませんが、これまでのおっしゃったような食べ物の減塩とかに捉われない目標も今後考えていく必要があるのかなと思いました。ありがとうございます。

他委員よろしいでしょうか。

はいありがとうございます。それではこの協議の②のスケジュールについても承認いただいたということで、それでは最後になりますが、その他として皆様から何かございますでしょうか。はい、片倉委員お願いいたします。

(片倉委員)

宮城県栄養士会の片倉です。その他ということで、ちょっと話題提供をさせていただきたく思います。栄養士会員は今880名弱です。それで今回、宮城県及び仙台市における生活習慣病に関する課題への宮城県栄養士会員一人一人の取組状況をアンケート調査いたしました。期間は昨年の11月から12月という一か月間だけに絞って調査をさせていただきました。

ました。その結果、健康課題の認知度というと、栄養士なので、95%の栄養士が宮城県、仙台市、健康課題は認識しているというような回答がありました。それで取り上げた健康課題は、肥満予防、減塩、野菜摂取、朝食摂取、食事バランス、運動でした。それで対象者は管理栄養士の職域全部なので、医療、学校健康教育、公衆衛生、地域活動、福祉ということで、福祉は保育園と老健施設ということになります。この栄養士が、県内の2213名の方々に健康教育を個別や集団で実施しているという結果が出ました。毎年期間を決めて実施していこうと考えております。栄養士会のみの実施では大きな結果は期待できませんけれども、実施をしていけば必ずやよい結果は出てくるのじゃないかなと感じております。以上で、小さなアンケートの結果ですけれども、栄養士会の取り組みの一部を御紹介させていただきました。ありがとうございました。

(小坂委員)

片倉委員大変貴重な調査結果の報告をありがとうございます。参加者の反応をみても健診結果のナトカリ比等の数値を気にかけているのが多かったというので、寶澤先生方が開発されたナトカリ比っていうのはかなり影響があるかなと、見える化をするという意味で宮城のいいところをぜひ強調していただければいいのかなと思いました。各委員、ただいまの報告につきましてコメント御質問等ございませんか。

片倉委員ありがとうございました。

他になければ本日予定しておりました議事を終了させていただきます。円滑な運営に御協力いただきましてありがとうございます。事務局に進行をお返しいたします。

(事務局)

小坂会長議事進行いただきましてありがとうございました。委員の皆様にはご多忙の中、長時間にわたり御議論いただき、貴重な意見をありがとうございました。なお、本日の内容は議事録として委員の皆様にご後日送付させていただきますので、内容の確認の方をよろしくお願いいたします。それでは、以上を持ちまして、令和4年度第2次みやぎ21健康プラン推進協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。